

平成26年度当初予算における政策的新規・充実予算枠予算要求の内容と査定結果【予算措置を見送ったもの】

消 防 局 予 算 要 求 の 内 容			検 討 が 必 要 な 事 項	今 後 の 対 応
事 業 名	事 業 概 要	要 求 額		
老朽防火水槽既存ストック活用事業	<p>京都市では古い街並みを火災から守るため、昭和23年の自治体消防の発足以前から、多くの防火水槽を整備しており、現在でも火災発生時の消防水利として、また、震災発生時に水道消火栓が使用不能となった際の震災水利として、重要な役割を担っている。</p> <p>これらの防火水槽について、既存ストックの活用という観点から、耐震補強の可能性を調査し、今後の耐震補強等の整備計画を策定するもの。</p>	30,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討	27年度予算以降において、事業実施の再検討を行う。